

取扱説明書

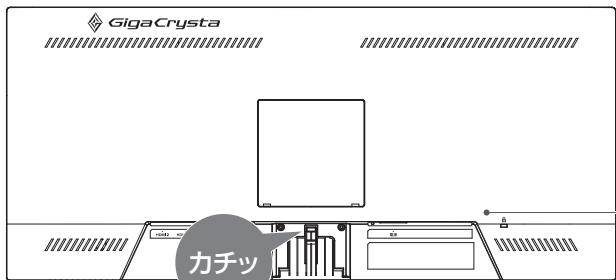
75Hz対応 29型ワイド液晶ディスプレイ
LCD-GCWF2915XDB



添付品を確認する

- 台座 □ HDMI ケーブル □ 電源ケーブル □ ネック □ DisplayPort ケーブル

台座を取り付ける



- 取り付け時・調節時のご注意
- 液晶パネル（表示面）が故障または破損する原因になります。
 - 本製品を床などに落とさない ●液晶パネルを傷つけない
 - 液晶パネルを手で押さえない

平らなところに柔らかい布などを敷き、液晶パネルを下にして置く

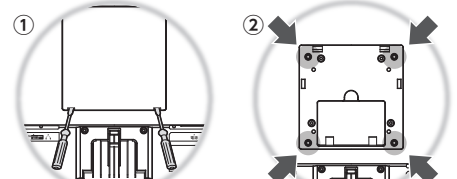
ネックを本製品にしっかりと差し込む
⇒カチッと音がして、ネックが固定されます。

台座をグッと押し込む
⇒カチッと音がして、台座が固定されます。
※ 向きがあります。押し込めない場合は、逆向きをお試しください。

モニターアーム（VESA）に取り付ける方法

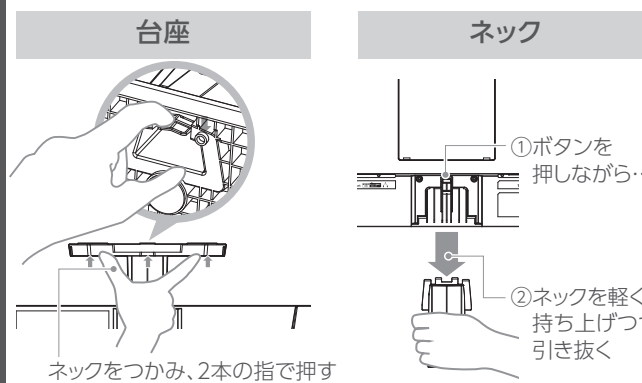
- 固定用ネジ:M4×10mm(モニターアームの金具の厚みにより異なる)
- 本製品質量:約4.2Kg(ネック・台座除く)
- VESAマウントインターフェース:100mm×100mm
- 締付けトルク:0.9～1.1N・m(9～11kgf・cm)
- 最大上下傾き:±20°、下5°

※VESA マウントインターフェースには保護フタがあります。フタ下部 左右の穴にマイナスドライバーを入れてフタを開いてください。



※ドライバーを使ってネジを締付けてください。スパナなど他の工具で締付けると、ネジ穴が破損する恐れがあります。

台座とネックを取り外す方法



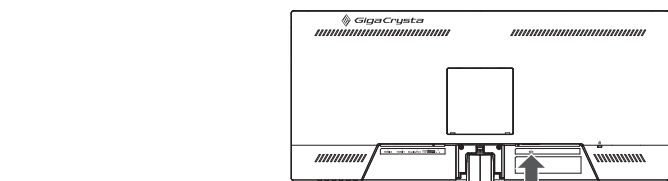
つなぐ

1 パソコンや映像機器とつなぐ



解像度
本製品は、最大解像度 2560x1080 (75Hz) に対応しています。

2 電源コンセントとつなぐ

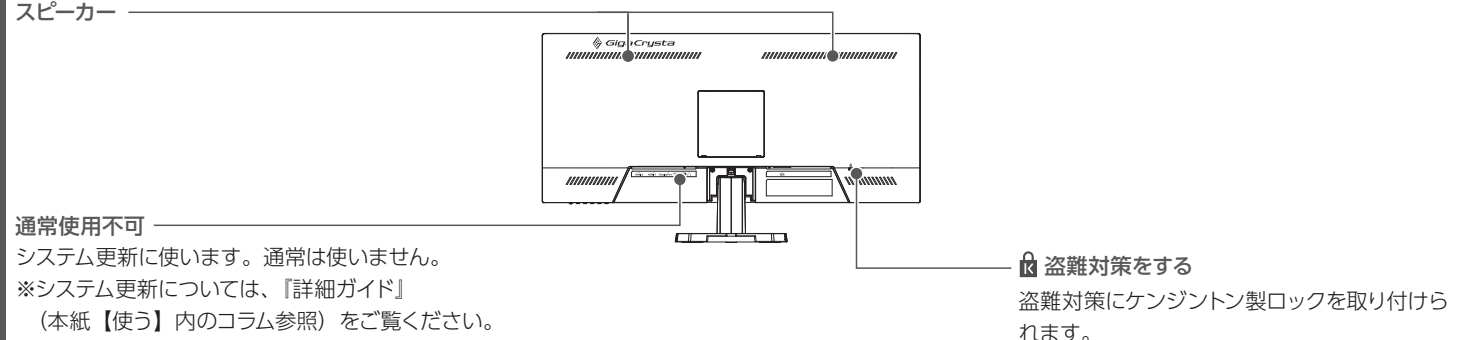


「電源」に奥までしっかりと差し込む

ご注意:アースについては以下を守る

- 必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
 - 電源プラグを抜いてから、アースを外す
- 守らないと、発火・感電の原因になります。

その他の機能について



使う

電源を入れる／切る

のボタン (突起があるボタン) を押します。

電源ランプについて

青点灯	電源入
オレンジ点灯	節電状態
消灯*	電源切

*設定によっては、電源入や節電状態でも消灯するようにできます。

詳細な設定をする(スタートメニュー)

- ▼が付いた4つのボタンの内、どれかを押します。
- [メニュー]のボタンを押します。
⇒スタートメニューが開きます。
- [メインメニュー]を選んで、[決定]のボタンを押します。
メインメニューでは、詳細な設定ができます。

お気に入り機能

本製品には、よく使う設定項目を「お気に入り」として登録する機能があります。
「お気に入り」として登録した設定項目はスタートメニューに表示され、メインメニューを開くことなく呼び出すことができます。
◆お気に入りを登録するには
スタートメニューからメインメニューを開き、登録したい項目で「決定」のボタンを3秒間押し続けます。

表示する映像を切り換える

- ▼が付いた4つのボタンの内、どれかを押します。
- [入力切換]のボタンを押します。
- 表示する映像を入力端子名で選びます。

設定については、『詳細ガイド』をご覧ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd_236981/



音量を調節する

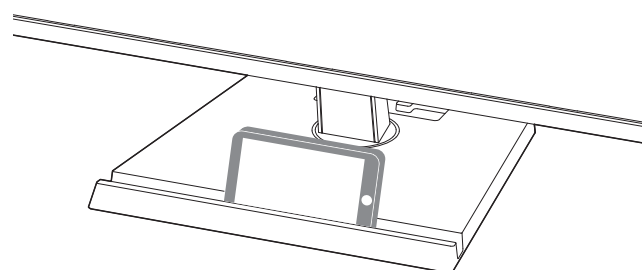
- ▼が付いた4つのボタンの内、どれかを押します。
- [音量]のボタンを押します。
- 音量を調節します。

画面の明るさ(輝度)を調節する

- ▼が付いた4つのボタンの内、どれかを押します。
- [輝度]のボタンを押します。
- 輝度を調節します。

スマートフォンなどを立て掛ける

本製品の台座には、スマートフォンなどを立て掛けると便利なスロットがあります。どうぞご活用ください。



安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示	▼ 絵記号の意味
警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。	禁止
注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。	指示を守る

警告

- 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
- 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。
- 本製品をぬらしたり、水気が多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかること、隙間から液み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特に注意する
●水の入ったもの(コップ、花瓶など)を上に置かない
●万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない
- 添付の電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。
- 電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使用しない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。
- じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。
- 本製品を取り付け、取り外し、移動の際は、必ず先にパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜く
電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。
- 梱包用のビニール袋や取り外した小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない
ビニール袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。
- 熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。
- 本製品の周辺に放熱を防ぐような物を置かない
発火の原因になります。
- AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながない
発熱、発火の原因になります。
- 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまますぐに発火・感電の原因になります。
- 接地接続について以下を守る
接地接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に接続してください。また接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

使用上の注意

■設置箇所について

高所に設置しないでください。万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。

■画面の焼き付きを防ぐために

- 同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。
- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切る。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能を使う。

■お手入れ方法

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ペンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。
- 変質やひび割れなどの原因になります。
- 液晶パネルに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などが付いた場合はすぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 放置しておく液晶パネルが変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へると故障の原因になります。

■バックライトについて

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラツいたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。
※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
※液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

- ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでみてもゆるみがある場合はつながないでください。発熱して発火の原因になります。
- テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する。たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量は1500Wなどの記載を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。
- 電源コードにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ、押しつけ、加工などはいはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電線の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。
- 液晶パネルから漏れた液体(液晶)には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破損し、中の液体(液晶)が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。

故障や異常のまま、つながない

本製品に故障や異常がある場合は、必ずつなっていない機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

- コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが通気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)
- 液体がこぼれたら、すぐに拭き取る
液体がこぼれた場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。

- 高所に設置しない
万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。

注意

- 眼精疲労を防ぐため、以下を守る
ディスプレイを見る作業を続けるときは、ディスプレイ(画面)の明るさ、音質およびキーボード面における明るさを周辺の明るさの差をなるべく小さくしてください。また、連続作業をするときは、1時間に10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。
- 電源を入れた状態で、お向け、横たお、逆さまにして使わない
内部に熱がこもり、発火の原因になります。
- 液晶パネルの表面を傷つけない
●画面を強く押したり、衝撃を与えない
●画面に力加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。
●画面を先のとがった物で押さない
破損や故障、けがの原因となることがあります。
●使いものでこすりついたり、たいたたりしない
破損してけがの原因となることがあります。

困ったときには

弊社サポートページをご確認ください

<https://www.iodata.jp/support/qa/lcd/>



音が出ない

●パソコンでお使いの場合
Windows
① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
② [サウンド]をクリック
③ [再生]タブをクリック
④ 本製品を選び、[規定値に設定]をクリック
macOS
① システム環境設定の[サウンド]をクリック
② [出力]タブをクリック
③ 本製品を選ぶ
●機器側の音量を確認してください。
●本製品の音量を確認してください。
●ヘッドホンをついている場合、本製品のスピーカーから音は出ません。

リフレッシュレートの設定について

●ご使用機器のグラフィック機能によっては、75Hzを選べないことがあります。
グラフィック機能が75Hzに対応しているのに選べない場合、OS上の設定を変更する必要があります。
詳しくは、ご使用機器のグラフィック機能に関する取扱説明書をご覧ください。

解像度の設定について

ご使用機器によっては、解像度 2560×1080 を選べないことがあります。
グラフィック機能が 2560×1080 に対応しているのに選べない場合、OS上の設定を変更する必要があります。
詳しくは、ご使用機器のグラフィック機能に関する取扱説明書をご覧ください。

2分待っても画面が表示されない

電源ランプを確認する

消灯 オレンジ 青

電源ランプを押す

電源ランプが消灯のままなら、修理をご依頼ください

画面の色がおかしい
全体に黄色や青がかかっている

本製品をリセットする

メインメニューの [メニュー表示] → [リセット] をお試しください。

改善しないなら…

接続を確認する

1 パソコン / 映像機器と本製品の間のケーブルを、奥までしっかりと差し込み直す

奥まで差し込む

2 入力切換で、映像を表示する入力端子名を選ぶ

ノートパソコンの場合
ノートパソコンの取扱説明書で「外部モニターへ出力する設定」をご確認ください。

数分待っても改善しないなら…

シンク設定を変更する

[シンク設定] を変更してください。
※画面に [シンク設定] が表示されていない場合は、次に進んでください。

改善しないなら…

パソコン / 映像機器を再起動する

改善しないなら…

サポートセンターにお問い合わせください

縦長 / 横長になるぼやける

解像度を設定する

1 デスクトップを右クリック

① [ディスプレイ設定] をクリック
※Windows 8/7 では、[画面の解像度] をクリック後手順 3 へ

2 [ディスプレイの詳細設定] をクリック

3 ディスプレイのカスタマイズ

① 2560×1080 に設定

② [適用 (OK)] をクリック

画面例：Windows 10

液晶ディスプレイの回収・リサイクル

弊社では製品のライフサイクルの容易さや電力消費の抑制など環境負荷を軽減する製品開発を進めています。
液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルにご協力をお願いいたします。

法人のお客様は

弊社では、法人のお客様がご不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・リサイクルのご案内や料金のお見積もりをおこなっております。
詳細は、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口

https://www.iodata.jp/recycle_h/

ご家庭でお使いのお客様は

弊社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で排出される弊社製液晶ディスプレイのリサイクルを実施しています。
回収された液晶ディスプレイは、新たな資源として生まれ変わります。
この取り組みを通じて、弊社はユーザーの皆様とともに地球環境保全の活動を進めてまいります。弊社が無料で回収・再資源化いたします。
お申し込みについては、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口

https://www.iodata.jp/recycle_k/

【VCCI 規格について】

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

【J-Moss について】

この装置は、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法 (JIS C 0950)」、「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク・ガイドライン」に基づきグリーンマークを表示しております。化学物質の含有情報は以下をご覧ください。
<https://www.iodata.jp/jmoss/>

【ユーザー登録はこちら】…<https://iportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
(例: ABC1234567ZX)

【ご注意】

- 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底ケーブル、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 本製品を適用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

- 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIのロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

【商品アンケートはこちら】

お気づきの点がございましたらアンケートにご協力願います。



アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等の一時的サービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報 報 是、株 式 会 社 アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

まずは、サポートページをご確認ください



<https://www.iodata.jp/support/qa/lcd/>

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

050-3116-3019

受付 9:00~17:00 月~日曜日
(年末年始・夏期休業期間を除く)
※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。



<https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/display>

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)*の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)*等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ日より5年間(ただし、本製品の使用時間が30,000時間を超えないこと)無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

- 以下の場合には保証の対象外となります。
- 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
 - 中古品でご購入された場合
 - 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部の事象による故障もしくは損傷の場合
 - お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等が原因で不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
 - 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
 - 取扱説明書等に記載の使用法または注意事項等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
 - 合理的な使用法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
 - 弊社以外で改造、調整、部品交換等された場合
 - 弊社が寿命に達したと判断した場合
 - 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で発生した場合
 - その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

修理を依頼する方法

保証期間 5年間

以下を梱包し修理センターへお送りください

- 本製品
- レシート、納品書など購入日を示すもの
- 修理依頼書(下記URLで印刷)
※名前・住所・TEL・FAX・E-Mail・症状を書いたメモでも可

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時のお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

<https://www.iodata.jp/support/after/repair/>

※事前連絡は不要です。
※修理の流れ、費用や納期の目安などもこちらでご確認いただけます。
なお、有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただけたら、修理いたします。(見積無料)
※修理依頼書はこれから印刷できます。



【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元に控えておいてください。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【液晶ディスプレイ】パネル部分を持つと、パネル内部が破損します。取扱には、充分注意してください。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復は行っておりません。